

令和 5 年度

由仁町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

令和 6 年 7 月

由仁町教育委員会

— 目 次 —

1	点検・評価の基本的な考え方	1 ページ
	（１）趣旨	
	（２）点検・評価の対象	
	（３）点検・評価の実施方法	
	（４）事務評価委員の構成	
	（５）点検・評価の公表	
2	教育委員会の活動状況	3 ページ
	（１）教育委員等の構成	
	（２）教育委員会の開催	
	（３）教育長、教育委員の活動状況	
	（４）教育委員会関連委員会の活動状況	
	（５）教育関連の表彰	
3	規則の制定について	8 ページ
	（１）教育委員会規則	
4	教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況	9 ページ
	（１）学校教育の充実	
	（２）グローバル化社会に対応した人材の育成	
	（３）教職員の指導力向上と働き方改革の推進	
	（４）地域に根ざした学校づくり	
	（５）安全・安心な地産地消による学校給食の充実	
	（６）大学・高校との連携の推進	
	（７）生涯学習の推進	
	（８）芸術・文化、スポーツ活動の推進	
6	事務評価委員会の総括意見	16 ページ

1 点検・評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

由仁町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成・公表することとしています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和5年度教育行政執行方針に示された8項目の基本施策に基づいて実施した事務事業としました。

- 1 学校教育の充実
- 2 グローバル化社会に対応した人材の育成
- 3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進
- 4 地域に根ざした学校づくり
- 5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実
- 6 大学・高校との連携の推進
- 7 生涯学習の推進
- 8 芸術・文化、スポーツ活動の推進

(3) 点検・評価の実施方法

令和5年度の基本施策に基づく69項目の主な取組における取組内容、成果や課題を明らかにして施策評価を行いました。

個別の事務（取組）については、以下の観点（基準）により評価を行いました。

- A：期待する成果があったもの
- B：期待される成果が得られたが、なお解決する課題があるもの
- C：期待する成果が得られなかったもの

(4) 事務評価委員の構成

「由仁町教育委員会事務評価委員会設置要綱」に基づき、事務評価委員2名を委嘱しています。

職 名	委 員 名	役 職 等
委 員 長	前 田 直 樹	会社役員 元由仁町教育委員
副 委 員 長	清 水 理 絵	自営業 元保護者

(5) 点検・評価の公表

点検・評価終了後、その結果をとりまとめた報告書を由仁町議会に提出するとともに、報告書を町民に公表します。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は原則として公開により、毎月1回（定例）を基本として開催するほか、必要に応じて臨時の会議を開催しています。

この会議において、4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定など様々な議題について審議しています。

（1） 教育委員等の構成（令和5年11月1日現在）

職 名	氏 名	委員就任年月日	
教育長	石井 洋	初 任	令和4年10月1日
教育委員	窪田 裕司	初 任	令和元年10月7日
		職務代理者	令和4年10月3日
教育委員	河端美津恵	初 任	令和2年10月1日
教育委員	水上美紀子	初 任	令和3年10月22日
教育委員	山川 大順	初 任	令和4年10月1日

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正による新たな教育委員会制度が施行されたことに伴い、教育長は就任日より教育委員会の代表者となる。

※ 各職の任期は、教育長が3年間、教育委員が4年間である。

（2） 教育委員会の開催

種別	開 催 日	付 議 案 件 等
定例	令和5年4月12日	(議案) ・由仁町立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について 外1件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・専決処分事項の報告について 外11件
定例	令和5年5月17日	(議案) ・由仁町いじめ防止基本方針の一部改定について 外2件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・専決処分事項の報告について 外7件

定例	令和 5 年 6 月 8 日	(議案) ・ 令和 5 年度由仁町教育委員会教育行政執行方針について 外 2 件 (協議) ・ 令和 5 年度教育委員学校訪問について 外 1 件 (報告) ・ 町民三川プールの開設期間及び開館時間について 外 1 件
定例	令和 5 年 7 月 6 日	(議案) ・ 由仁町立学校における教職員のハラスメント防止に関する指針の一部改定について (協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 由仁町議会第 2 回定例会教育行政報告について 外 6 件
定例	令和 5 年 8 月 4 日	(議案) ・ 令和 4 年度由仁町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について 外 1 件 (協議) ・ 令和 5 年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 外 1 件 (報告) ・ 教育委員の任期満了について 外 1 件
定例	令和 5 年 9 月 7 日	(議案) ・ 令和 5 年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について 外 1 件 (協議) ・ 令和 5 年度ゆに教育の日について 外 1 件 (報告) ・ 令和 5 年度全国学力・学習状況調査 英語「話すこと」の結果について 外 6 件
定例	令和 5 年 10 月 6 日	(議案) ・ 由仁町教育委員会表彰規則内規の一部を改正する内規の制定について (協議) ・ 令和 5 年度由仁町教育委員会表彰について 外 1 件 (報告) ・ 教育委員の任命について 外 7 件
定例	令和 5 年 11 月 8 日	(協議) ・ 由仁町教育総合会議について 外 2 件 (報告) ・ 令和 5 年度由仁町立小中学校教職員の時間外在校時間について 外 3 件

定例	令和5年12月7日	(議案) ・令和5年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について (協議) ・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 外1件 (報告) ・由仁町総合教育会議について 外4件
定例	令和6年1月12日	(議案) ・伏見台球場の指定管理者の指定について (協議) ・由仁町部活動の地域移行に関する推進計画について 外1件 (報告) ・由仁町議会第4回定例教育委員会行政報告について 外4件
定例	令和6年2月9日	(議案) ・由仁町部活動の地域移行に関する推進計画の策定について 外1件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について 外6件
臨時	令和6年2月21日	(議案) ・令和6年度公立小中学校校長人事について
定例	令和6年3月1日	(議案) ・令和5年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について 外6件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・由仁町立小中学校教職員の時間外在校時間の公表について 外5件

(3) 教育長、教育委員の活動状況

日 付	主な内容	会 場
令和5年4月4日	教職員辞令交付式	役場3階大会議室
令和5年6月12日	空知教育局職員の市町教育委員会訪問	役場3階委員会室
令和5年6月29日	教育委員学校訪問	小中学校

令和5年7月21日	北海道市町村教育委員研修会	札幌市
令和5年7月13日	全町自治区対抗ソフトボール大会	伏見台球場ほか
令和5年8月4日	教職員等研修（SDGs・ESD研修会）	小学校
令和5年10月10日	教育委員辞令交付（窪田教育委員）	役場応接室
令和5年10月24日	札幌日本大学中学校・高等学校との連携協定に関する協定調印式	役場3階大会議室
令和5年10月27日	由仁町教育委員会教育委員視察研修	沼田町、歌志内市
令和5年10月28日 ・10月29日	由仁町文化祭	文化交流館
令和5年11月1日	ゆに教育の日一斉公開授業	来訪者184人
令和5年11月8日	由仁町教育委員会表彰	役場3階大会議室
令和5年11月15日	教育委員学校訪問及び学校経営中間報告	小中学校
令和5年11月27日	夢づくり子ども教育委員会	健康元気づくり館
令和5年12月19日	由仁町総合教育会議	役場3階大会議室
令和6年1月3日	由仁町二十歳のつどい～ふるさとを想う～	由仁町文化交流館
令和6年3月12日	由仁中学校卒業式	中学校
令和6年3月19日	由仁小学校卒業式	小学校
※ 小中学校の入学式は、新型コロナウイルス感染症が5類移行前であったことから教育委員は欠席		

（４） 教育委員会関連委員会の活動状況

委員会名	開催日	会場
由仁町社会教育委員の会	令和5年6月8日 令和5年11月7日	役場3階大会議室
由仁町スポーツ推進委員の会	令和5年5月11日	役場3階大会議室
由仁町学校運営協議会	令和5年6月6日 令和5年10月31日 令和6年2月13日	役場3階大会議室 ※3回目は書面開催とした。
由仁町学校給食運営委員会	令和5年5月29日 令和6年2月7日	役場3階大会議室

（５） 教育関連の表彰

ア 由仁町教育委員会表彰

本町のスポーツ・文化その他教育の振興に功績のあった個人及び団体を表

表彰しました。

- ・表彰式開催日 令和5年11月8日
- ・表彰式会場 由仁町役場3階大会議室

区 分	被 表 彰 者
文化振興	丹野 実恵子 (文化祭へ生け花出品と同時に野点 ^{のだて} 体験を行い、町民に茶道を楽しむ場を提供)
スポーツ優秀成績	春日 桜 (第63回全国中学校水泳競技大会でフリーレーに出場し8位に入賞)

イ がんばる子ども表彰

部活動や学校生活において顕著な成績を残した子どもたちを表彰しました。

区 分	被 表 彰 者	推薦者
学芸賞 (個人)	・野島 楓叶 (小2 絵画) ・仲山 聖菜 (中2 英語) ・吉田 鼓太郎 (中3 少年の主張)	学校
体育賞 (個人)	・春日 桃 (中1 水泳) ・横井 なつ (中1 新体操) ・澤田 快星 (小5 サッカー) ・菊池 咲哉 (小5 サッカー)	学校 教育委員会
体育賞 (団体)	・由仁中学校女子ソフトボール部	学校
努力賞 (個人)	・北川 歩夢 (中3 3年間無欠席) ・仲山 偉琉 (小6 野球) ・佐野 夢月 (小6 野球) ・早坂 蓮 (小4 空手) ・北川 琉偉 (小4 空手)	学校 少年団

3 規則の制定について

(1) 教育委員会規則

件 名	公布年月日
由仁町立学校管理規則の一部改正	令和 5 年 4 月 13 日
由仁町立学校管理規則の一部改正	令和 6 年 3 月 4 日

4 令和5年度教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	①基礎学力向上	全国学力・学習状況調査の全校実施	○		●		◆ 全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に実施した。小学校では、国語で全国平均を上回り、算数が下回った。中学校では、国語、数学、英語のいずれも全国平均を下回った。 調査の分析結果を踏まえ、各学校において学力向上を目指し改善策を講じた。 (児童生徒が自ら学習の定着、改善策の実感が図られるかが課題)
			教職員定数の加配等	○	●			◆ 中学校では数学で指導方法工夫改善加配1名、小学校では国語の専科指導加配1名、通級指導加配3名を配置して、学習指導の充実を図った。
			放課後・長期休業期間等を活用した学習指導	○	●			◆ 小中学校で、希望者を対象とした放課後学習会及び長期休業期間の学習指導を行った。 ◆ 中学校で、デジタルドリルによる家庭学習を進めた。
			検定料の助成	○	●			◆ 英語検定や漢字検定を受験した小中学生に検定料の一部助成を行った。
		②小中一貫教育の推進	義務教育9年間を通じた系統的な指導計画の策定など	○	●			◆ 新型コロナウイルスの影響で滞っていた事業が進み始めた。 ◆ 各教科の9年間指導系統表を作成した。 ◆ 令和6年度以降の小中一貫教育の前進のため、推進体制の見直しを行った。
			乗入授業、一日登校体験などの実施	○	●			◆ 乗入授業（算数）、体験登校交流授業（体育、音楽）を初めて実施した。
			小中一体となった行事の実施	○	●			◆ 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから5年ぶりに幼保小中が連携して地域クリーン作戦（環境衛生活動）を実施した。 ◆ 防災関係機関と連携して、小中合同で1日防災学校に児童生徒全体で取り組んだ。 ◆ 認知症サポーター講習を実施した。
		③特別支援教育の推進	特別支援教室・通級指導教室の開設	○	●			◆ 小中学校に特別支援教室7学級、由仁小学校に通級指導教室の開設を継続した。
			特別支援教育支援員の配置	○	●			◆ 特別支援教育支援員を小学校に3人、中学校には2人配置した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	④いじめ・不登校問題への対応	学校と行政の連携によるいじめ根絶の取組	○	●			◆ いじめについては、各学校で「いじめ防止基本方針」を策定して対応を整備しているほか、年2回のアンケートの実施により実態の把握、積極的な認知に努めた。不登校については、担任及び教育相談員の家庭訪問、個人面談を行うとともに、スクールカウンセラー等を活用した。 ◆ 児童生徒が主体となって「いじめゼロ集会」を行い、望ましい人間関係づくりに努めた。 ◆ 小中学校生徒指導協議会の中で、情報共有を図った。
			スクールカウンセラーの活用	○	●			◆ 18日（1日当たり4時間）配置し、生徒・保護者との面談や教職員との情報交換、助言を行った。
			教育相談員による相談体制の充実	○	●			◆ 教育相談員による児童生徒や保護者の悩み相談を行った。
		⑤体力と運動習慣向上対策	全国体力・運動能力等調査の実施	○		●		◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した。 調査結果は、全国平均対比で、小学生の男女、中学生の男女ともに体力合計点は全国平均を下回る結果となった。 ◆ 小学校では縄跳び、中学校では持久走トレーニングなどを実践した。 （学校生活以外で、運動習慣を身に付けられるかが課題）
			部活動への支援	○	●			◆ 全道大会、全国大会へ出場する生徒に対し交付金を交付し支援した。
			学校施設設備の改修、整備等	○	●			◆ 中学校グラウンド除草整備や小中学校のAEDを更新したほか、小中学校の施設修繕を実施した。
		⑥子ども達の健康維持	ゆにっ子検診やピロリ菌検査の取組	○	●			◆ ゆにっ子検診及びピロリ菌検査については、保健福祉課が主体となって、中学2年生を対象に実施した。
			フッ化物洗口事業の取組	○	●			◆ フッ化物洗口は、小学1年生から6年生までの希望者を対象に実施した。
		⑦命を守る教育及び防災教育	交通安全教室等実施	○	●			◆ 小中学校において計画どおり防犯教室・交通安全教室等の開催、火災避難訓練等を実施した。
			1日防災学校の実施	○	●			◆ 防災関係機関と連携して総合防災訓練（兼）1日防災学校として、避難訓練や消火訓練などを小中一貫教育で取り組んだ。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	⑧教育現場におけるＩＣＴの推進	児童生徒一人一台端末の活用	○	●			◆ ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け、端末の操作、授業支援など、地域おこし協力隊を活用し教員の支援を図った。
			ＩＣＴ環境の整備	○	●			◆ 移動式の大型液晶モニターを各教室に整備した。
			情報モラル教育・マナー指導の実施	○	●			◆ パソコン操作のほか、インターネットやＳＮＳなどによるネットトラブルの防止に向け情報モラルやマナー指導を行った。 ◆ 生徒指導協議会作成の情報モラル９年間の指導計画により、一貫した指導に努めた。
			外部人材を活用したプログラミング学習	○	●			◆ 小学校において、地元企業と連携しドローンを活用したプログラミング学習を行った。
		⑨通学時の事故防止、安全対策	道路管理者や警察、関係機関との連携、環境整備等	○	●			◆ 道路管理者や警察、ボランティア団体と連携し、通学路の安全確保に努めた。
			スクールバスの安全で効率的な運行	○	●			◆ 小学校の統合に伴い、歩いて通学することが困難な遠方に住む小中学生の通学手段として、スクールバスを７路線で運行した。また、平日部活便として６路線、土曜日など休日部活便として４路線で運行した。
		⑩読書習慣の定着	小中学校での読書の推進	○	●			◆ 小中学校で授業前に読書の時間を設け、児童生徒の意識改善を図った。 ◆ ゆめつく館と連携して、小学校に対し「小さな本箱」事業と学級文庫の貸出を行った。 ◆ 小学校でＰＯＰの作成方法や司書の仕事についての授業を行い、本に親しむ機会づくりとなった。
		⑪幼保小連携の推進	小１プロブレム解消に向け関係機関との連携	○	●			◆ 由仁町教育支援会議において、関係機関が連携し児童及び生徒が適切に就学できる体制づくりを進めた。 ◆ 定期的に幼保小中の福祉関係者と教育関係者が集い、情報共有を図っている。
		⑫就学援助の充実	要保護・準要保護世帯への就学援助費の交付	-	●			◆ 令和６年度新入学児童生徒に対して、入学準備に係る学用品費を３月に繰り上げて支給した。
2 グローバル化社会に対応した人材の育成	学校教育	①国際社会の理解	外国語指導助手（ALT）の配置	○	●			◆ 小中学校に１名ずつＡＬＴを配置し、英語や外国語活動の指導を行った。また、就学前の認定こども園や保育園にも週１回程度、ＡＬＴを派遣して英語に触れる機会を確保した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
2 グローバル化社会に対応した人材の育成	学校教育	②民間企業と連携した英語基礎学力の向上	地域活性化企業人制度（特別交付税措置）を活用した英語指導者派遣	○		●		◆ 3大都市圏に本社がある様々な企業に協議を進めた。 ◆ 本制度の要件に合致する企業との合意形成を得られなかった。 （本制度以外の別の方策を検討する必要あり）
		③郷土の歴史や文化の学習	農業体験等の実施	○	●			◆ 小学校では、由仁土地改良区やそらち南農協青年部の協力により、稲作体験（たらい稲、田植え・稲刈り）や由栗いもの収穫体験を実施した。
			キャリア教育の推進（町内企業での職業体験）	○	●			◆ 町内企業で中学校2年生が職場体験を実施した。
3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進	学校教育	①教職員の指導力向上	教育振興会への支援	○	●			◆ 学校教育の直接の担い手である教職員の資質向上のため、教育振興会の活動に対し支援を行った。
			ゼロカーボンシティ宣言（教職員研修の実施）	○	●			◆ 学校におけるSDGsを踏まえたESD（持続可能な開発のための教育）の理解を深めるため研修会を実施した。
		②働き方改革の推進	働き方改革アクション・プランの推進	○	●			◆ 時間外在校時間をホームページで公表した。 ◆ 学校文書の電子化を進めた。
			教職員の校務の効率化	—	●			◆ 事務補を各校に配置するとともに校務支援システムを両校に導入し、通知表や指導要録の電子化を進めるなど、教職員の校務の効率化に努めた。
			時間外電話対応の削減	○	●			◆ 留守番電話を設置し、時間外の対応を削減した。
4 地域に根差した学校づくり	社会教育	①学校運営協議会の活動推進	コミュニティ・スクールの運営	○	●			◆ 計3回の会議を行った中で、学校の課題についての協議や次年度の学校経営方針の承認、学校関係者評価を実施した。 また、協議会の事業として由仁町学校支援企業バンクを設置し、事業趣旨に賛同した企業をリスト化し、52企業等が登録した。 企業バンクについては、令和6年度から運用開始予定
	学校教育	②ゆに教育の日	一斉公開授業の実施	○	●			◆ 「ゆに教育の日」として、11月1日に小中学校とにじいろこども園、三川保育園で一斉公開授業を実施し、延べ184人が参観した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
4 地域に根差した学校づくり	学校教育		夢づくり子ども教育委員会の開催	○	●			◆ 夢づくり子ども教育委員会では、小中学生9名を子ども教育委員に委嘱し、「みんなで考えようSDGsできること～」をテーマに児童生徒が意見交換し、学校給食でのフードロスの削減やポイ捨ての注意喚起について発表した。 ◆ 事業運営には、ICTを積極的に活用し事業を進めた。
5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実	学校給食センター	①食育の推進	栄養教諭による食育指導の推進	○	●			◆ 望ましい食習慣や食と健康について発達段階に応じた指導を行った。 ◆ 給食だよりを通じ、保護者への周知啓蒙を図った。
			由仁のものの学校給食の実施	○	●			◆ 産業振興課と連携し、町内で収穫された野菜や農産加工品を使った給食を食育として年3回実施した。
			安全・安心な学校給食の提供	○	●			◆ 給食配送用コンテナを活用し、衛生管理の徹底に努めた。
6 大学・高校との連携推進	学校教育	①交流協定大学・高等学校との連携	連携・交流の推進による	○	●			◆ 江別市内の大学との学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）を通じ、ソフトボール大会の運営や小中学校の長期休業学習会の講師に大学生を活用した。 ◆ 立命館慶祥高等学校ラグビー部と由仁町スポーツ少年団とのスポーツ交流を行った。 ◆ 新たに札幌日本大学中学校・高等学校と連携協定を締結した。協定初年度であったが、首長推薦入学試験制度により2名が入学した。 ◆ 札幌新陽高校2年生による野外体験活動（キャンプ）の受け入れを行った。
7 生涯学習の推進	社会教育	①青少年の健全育成	4町合同青少年リーダー研修会の開催	—	●			◆ ゆにガーデンを会場に「風あげ&BBQ」を開催した。4町から40名（うち由仁町18名）が参加し、交流を深めた。
			子どもの安全対策の推進	—	●			◆ ゆにっ子見守り隊・防犯協会・PTA連合会等と連携し、登下校時の安全対策や不審者情報の共有を図った。
			心とからだ子ども元気プランの定着（ポスター募集）	—	●			◆ 「早寝、早起き、朝ごはん運動」等の4つの取組を推進するため、今年度も小中学生を対象に啓発ポスターの募集を行い、受賞者を表彰するとともに作品を文化祭に展示した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
7 生涯学習の推進	社会教育	②高齢者大学	高齢者大学「アカデメイア・ユニ」の開催	○	●			◆ 高齢者大学「ユニ・カレッジ」をより一層充実させ、名称を「アカデメイア・ユニ」として、講座の内容も一新して実施した。（在籍：40名）
		③女性の活躍や交流の促進	女性セミナー「フィーカ」の開催	○	●			◆ 「きらっとL i f e ～つなぐ～」と連携し、全9回の講座を実施した。
		④英会話教室の開催	ネイティブのA L Tによる実施	○		●		◆ A L Tを講師とした英会話教室を週に1回開催。日常会話等を通じ、英語に触れる機会を創出した。（参加者の減少、固定化（6名）が課題）
	ゆめつく館	⑤ゆめつく館の「知の拠点」としての刷新	管理運営の効率化の検討	○		●		◆ 情報センターとして機能強化するため、事務局で検討協議を進めた。（機能強化を図るため、当町にとってどのような手法が適正なのかを定めることが課題）
			町民の読書習慣の定着	○	●			◆ 図書館の行事や司書の仕事を体験し、読書への興味関心を深められるよう読書イベント「おはなしトレジャーハント2」や絵本展を実施した。 ◆ 「あおぞらとしょかん」は79名「おはなし会」は158名の参加があり、図書館利用の機会となった。 ◆ 育児で多忙な保護者に、日々の生活で読書を楽しむ機会を提供するため、三川保育園において読書支援事業「気ままに1冊」を実施した。
			子どもの読書活動推進計画の策定	○	●			◆ 子どもの読書推進を図るため「第2次由仁町子どもの読書活動推進計画」を策定した。
8 芸術・文化、スポーツ活動の推進	社会教育	①芸術文化、郷土芸能活動の奨励	由仁町文化連盟への支援及び文化事業の実施	○	●			◆ 文化連盟が主催する由仁町文化祭の実施に対し補助金を交付するとともに、事業実施時に人的協力を行い支援した。
			文化交流館事業実行委員会への支援	－	●			◆ 交付金を交付し、住民参加型の歌謡大会など様々な事業を支援した。 3つのイベントにより、住民の芸術文化に対する意識高揚の推進に寄与した。
		②スポーツ活動の推進	第33回 全町自治区対抗ソフトボール大会	－	●			◆ 9チーム（150名）の参加により開催した。 江別市4大学による学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）を通じ、運営に大学生を活用した。
			第14回 ゆっくり由仁ウォーキング	－	●			◆ ゆにガーデン内を通過する新たなコースで44名の参加のもと実施した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
8 芸術・文化、スポーツ活動の推進	社会教育		第22回 ミニバレーボール大会 (旧 冬季ミニバレーボール大会)	－	●			◆ 冬季の天候等を考慮し、時期を変更したが、例年並みの7チーム(64名)の参加により実施した。 (スポーツクラブ、スポーツ推進委員による運営)
		③体育関係団体への活動支援	スポーツ推進委員の活動の充実	○	●			◆ 年1回の会議のほか、ゆっくり由仁ウォーキングの企画運営や町主催事業、スポーツクラブ主催事業等への協力を行った。
			スポーツ協会・スポーツ少年団への支援	○	●			◆ 補助金を交付し、スポーツ協会及びスポーツ少年団の活動を支援した。 立命館慶祥高等学校ラグビー部と由仁町スポーツ少年団スポーツ交流会～楽しくラグビー体験～を実施し、交流を深めた。
			総合型地域スポーツクラブとの連携	○	●			◆ 補助金を交付し、ヨガ教室、ミニバレーボール大会の開催を支援した。
	学校教育	④中学校休日部活動の地域移行	協議会の設置、推進計画の策定	○	●			◆ 協議会を設置し、休日部活動の地域移行について協議を開始した。 ◆ 今後の地域移行に対し推進計画を策定した。
			実証事業	○	●			◆ スポーツ庁の委託事業の採択を受けた。計画どおり事業を進めた。
	社会教育	⑤がんばれ応援基金の活用	基金による子ども達の活躍の後押し	○	●			◆ スポーツで活躍する町内の子どもたちが全国大会に出場する際に旅費等の助成により支援した。 令和5年度該当件数：5件(9名)
		⑥文化・スポーツ各施設の適正管理	文化交流館の管理運営	－	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。(5年契約の1年目)
			町民由仁プールの管理	○	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。(3年契約の1年目) 年度途中で指定管理者の変更があったが、管理運営に支障をきたすことはなかった。
			町体育館の管理 学校開放事業の実施	○	●			◆ 町体育館の休館に伴う利用者の活動場所を学校施設開放事業により確保した。 町体育館の今後の方針は検討中。
			伏見台球場の管理	－	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。(単年契約)
			小中学生の体育施設使用料の無償化	－	●			◆ 小中学生の使用料無償化措置を継続し、子どもたちの利用促進に努めた。

5 事務評価委員会の総括意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の定めにより、教育委員会から提出を受けた資料（主要施策8項目に基づく点検評価項目32項目、具体的な取組等69項目）について、令和6年7月22日に行われた教育委員会事務評価委員会において教育委員会事務局からの説明を受け、その後意見交換を行いました。

令和5年度由仁町教育委員会点検・評価報告書の作成に当たっては、令和5年6月20日開会の令和5年由仁町議会第2回定例会において教育長が示した教育行政執行方針の内容に沿って整理区分し、それぞれの評価項目による個別事務・事業の取組について、A～C評価による自己採点をされ、その成果や課題等が記載されており、年次教育行政を理解する上で重要な報告書となっており、報告書にある分野ごとの特筆的事項について当委員会としての意見を述べさせていただきます。

点検・評価結果に基づいた意見

（1）教育委員会の活動状況

教育委員会定例会を12回、臨時会を1回開催して、各教育委員から課題解決に向けた積極的な発言、慎重な議案審議による円滑な会議運営が図られており成果をあげています。令和5年10月7日付けで、窪田裕司教育委員が再任され、経験を生かした教育諸施策の更なる推進を期待しています。

教育長、教育委員の活動においても学校訪問や総合教育会議を通じて教育現場の取組や児童・生徒の授業状況の把握に努めるとともに、町部局との積極的な情報共有や意見交換がなされ、未来を見据えた連携がしっかり図られていることを評価します。

教育関連の表彰にあつては、教育委員会表彰では、文化振興、スポーツ優秀成績の2分野で2人の個人が受賞され、がんばる子ども表彰では、学芸、体育、努力の各表彰部門で1団体12個人が受賞されており、大きな励みとなりました。

（2）主要施策・事務等の取組状況

学校教育では、多項目にわたり積極的な事業が進められ、特に一人一人の個性を伸ばす教育の推進にあつては、時代に即応する取組が図られています。

社会教育では、多様な価値観などの様々な社会変化の中にあつて、人生100年時代の生涯学習社会を後押しする社会教育の充実と推進に向けた各種事

業が着実に実施されております。

① 学校教育の充実

全国学力・学習状況調査では、小学6年生では国語が全国平均を上回り、算数が全国平均を下回りました。中学3年生では、国語、数学、英語の全てが全国平均を下回る結果となりました。結果を分析され、効果的な改善策を図られることを期待します。

小中一貫教育の推進では、クリーン作戦や1日防災学校の取組をはじめ、算数の乗入授業や体育・音楽を通じた体験登校交流などが確認されました。各教科の9年間指導系統表も策定されたことから、小中教員間の連携を深められ、教育現場での実践を着実に進められることを願います。

いじめの実態把握については、年2回のアンケートの実施が行われておりますが、重要なことは把握後の対応であり、表面化してないこともあるものと推察されます。小さな予兆も見逃すことのないよう、教員の連携を強められ対応をお願いします。不登校の問題においては、要因も多様化してきているところですが、担任、教育相談員、スクールカウンセラーが心に寄り添いきめ細やかな対応を引き続きお願いします。

I C Tの推進では、本格的な活用から3年が経過し、G I G Aスクール構想の実現に向け着実に取り組まれています。生成A Iに代表されるようにI C T分野は日々進化しています。メリットとデメリットをしっかりと把握し、必要な知識を教職員一人一人が身に付け、教育現場での指導方法の工夫が図られることを望みます。

② グローバル化社会に対応した人材の育成

外国語指導助手（ALT）を小中学校に各1名配置し、実践的英会話やコミュニケーション能力の向上に向け、積極的に展開されています。

また、グローバル教育は郷土の歴史や文化を知ることからはじまります。今後も基幹産業の農業体験や地元企業の職業体験などを、継続的に実施いただくことをお願いします。

一方、英語基礎学力の向上を図るための民間企業と連携については、企業との合意形成が図られなかったとのことですが、人材育成の一層強化のため別の方策の検討をお願いします。

③ 教職員の指導力向上と働き方改革の推進

教職員の指導力向上については、ゼロカーボンシティ宣言を受けS D G sを踏まえた教職員研修会が開催されました。今後も多方向にアンテナを張り、学校教育の担い手である教職員自らが学び続けていくことを望みます。

また、働き方改革の推進では、教職員の時間外在校時間縮減を確認しました。単なる業務時間の短縮ではなく、「子どもと向き合う時間の確保」が目的であることを再認識いただくようお願いします。

④地域に根差した学校づくり

コミュニティースクールについては、実施２年目に入り、計画どおり進められています。新たに学校支援企業バンクを設置し、52企業が登録されたことで、学校支援ボランティア制度（個人登録）と合わせて広く制度を周知し、登録が増えていくことを期待します。この協議会は、学校と地域をつなぐ大切な組織です。学校を応援する組織が一步ずつ成長されることを期待します。

ゆに教育の日の活動では、一斉公開授業や夢づくり子ども教育委員会が開催されています。夢づくり子ども教育委員会では、「みんなで考えようSDGsできること」をテーマに身近に実践できることについて、ICTを積極的に活用しながら事業が展開されています。由仁町の子ども達が多様性やグローバル化に対応した人材となれるよう、後ろ盾をお願いします。

⑤安全・安心な地産地消による学校給食の充実

栄養教諭による食育指導が図られています。町内で収穫された農産物を使用し「由仁のもの給食」として充実した学校給食が提供されています。今後も安全・安心な給食の提供をお願いします。

⑥大学・高校との連携推進

新たに札幌日本大学中学校・高等学校との連携協定が締結されました。初年度の令和５年度では、首長推薦入学試験制度により２名が入学されました。今後も連携を進め、進路の多様化、学校教育の高度化につながることを期待します。また、連携・交流の成果を広く町民に周知することを望みます。

⑦生涯学習の推進

高齢者大学「ユニ・カレッジ」を一層充実させ、「アカデメイア・ユニ」として、講座の内容が一新されました。今後も多彩な魅力ある学習プログラムを提供されることを望みます。青少年の健全育成や女性活躍では、４町合同青少年リーダー研修会や女性セミナー「フィーカ」により、積極的な交流が深められています。

一方、A L Tによる英会話教室が実施されていますが、受講者が毎年固定化されている傾向にあるようですので、新規受講者層の開拓に向けた工夫が必要と感じました。

ゆめっく館の運営については、楽しみながら本に親しみ興味関心を深めら

れるよう幼児や児童を対象としたイベントが展開されています。新規事業として、育児で多忙な保護者に日々の生活に本を楽しむ機会を提供するため、三川保育園において読書支援事業が実施されました。今後、図書館が「知の拠点」として発信していくためにも、インターネットなどを積極的に活用して情報センターとしての機能を担っていただくことを望みます。

⑧芸術・文化、スポーツ活動の推進

文化交流館事業実行委員会への支援によって、3つのイベントが実施され芸術文化事業の振興に繋がりました。今後とも連携を保ちつつ適切な支援の継続を願います。スポーツ活動では、コロナ禍で足踏みしていたものが5類へ移行され、ソフトボール大会、ウォーキング、ミニバレーボール大会の開催など、従前の取組が取り戻されました。今後もスポーツ推進委員やスポーツ協会などの関係者が協力して事業を進めていくことを期待します。

施設管理の面で経年劣化による修繕が多くなっています。利用者の安全確保を最優先して適正な管理を望みます。

また、がんばれ応援基金を活用して、5件9人の全国大会出場者の支援が行われました。今後も活躍の後押しができるよう支援を望みます。

中学校休日部活動の地域移行では、協議会を設置して、推進計画に基づき議論が進められています。地域移行は、保護者の協力なくして成立しないものと考えられますので、少子化や教員の働き方改革の観点からも、より良い方向性を見出していくことを望みます。

(3) 全体講評

令和5年度の事務事業は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことにより、コロナ禍前と同等の事業推進が図られたことに対し、教育行政関係者に敬意を表します。5類移行に当たって今後事務事業を進めていく上では、単にコロナ禍前と同じ姿に戻すだけではなく、社会の進度に応じた見直しを行い、時には廃止も検討した上で、この時代にあった事務事業が展開されるようお願いします。

将来を見据えた教育現場での様々な取組は、由仁の子ども達の成長を左右させます。確かな学力並びに体力を身につけさせ、かつ、人間性を高めていくことで自分自身が明るく輝きを放つものと思います。

最後に、令和6年度以降の教育行政執行に当たっても、学校教育においては教育現場と、社会教育においては地域団体と緊密な連携を保持され、多岐にわたる実効性ある事業を着実に推進されることを望み当委員会の意見報告とします。